八月十七日　夕刊

日刊（但シ日曜祭日翌日休刊）一ヶ月廿五錢 郵稅十五錢 一部二錢
廣告料 一行四十錢 場所指定 二十錢増
發行兼編輯印刷人 中谷政壽
發行所 福島縣平市大町二三 新いわき新聞社

常識講座

ブレブス●リーグは庶民聯盟の意だ、オックスフオードのライキン大學々生の急進分子が一九〇八年勞働者の敎育を目的とし同大學の敎育方針に反對して組織されたる團体である

白米の相場にも 經濟戰線の一手
値上げには知事の認可

石城は地方に於ける米の消費地である實狀から各產地の出廻りを見せ他に比して常に若干の相場高を呈してゐるが統制法による公定價が生產消費兩者に容認され順調な經過にあるも事變による經濟戰線から最近これにも新しい統制の一手を觸れて從來地方米穀商當業のみの協議を以て値上げを自由にされてゐたものに對し今後は値上實施一週間以前に於て米穀商業組合等の決議錄を添え知事の認可を受けねばならぬことになつた最近協定（八月四日）の平市の米價は左記の如く前値に比して不動であるが搗麥のみは軍需の影響で十四キロ當り十五錢を値上されてゐる、尚ほ白米の現在相場は玄米四等標準値十三圓十錢程度より見る場合極めて薄利の如くなるも等外米を取扱ふ計算よりすれば相當の利を見られる筈であると

▲白米一等（十四キロ）三圓五十五錢、二等三圓四十五錢、三等三圓三十五錢、等外三圓二十五錢、▲田糯白一等三圓八十錢、二等三圓七十錢、陸糯白一等三圓五十五錢、二等三圓四十五錢 ▲白麥二圓四十錢、平麥三圓（以上）

皇軍慰問談と映畫會の夕べ
各種團体から大歡迎

☆☆☆☆☆ 星製藥の提供 ☆☆☆☆☆

星製藥が映畫機及びヒルム並びに技術家を提供する「中支皇軍慰問視察談と映畫會の夕べ」は地方町村の鄕軍及び靑年團その他の銃後に於ける活動資金充足の一方法ともなり事變に關する映畫は非常時認識を强化されるもの多く各種團体から大なる歡迎を受けてゐるが同開催の希望には星製藥本縣支部の平市ホシチエンストアーが諸般の便宜をとり皇軍慰問の講演は最近星製藥會社から中支各地に向けられた派遣慰問使駒木根忠三氏によるもので映畫は左記の如くである

▲オールトーキー（巨象襲來）ネオスーパートーキー（最後の偵察）オールトーキー（露營の歌）何れも全卷その他漫畫トーキー數種

改築される神谷村駐在所

石城郡神谷村の巡査駐在所は腐朽甚だしい爲め改築を唱へられてゐたが愈よ實現の筈で目下設計中だが最近落成式を擧げた赤井村駐在所と略ぼ同じく工費は二千圓位を要するであらうと

石城小麥の出荷半減
相場は一圓高

石城の小麥は全部全購聯の手で五大會社に買はれてゐるが現在までの取引總量四千五百俵で昨年の一萬二百俵に比し半量に足らず今後の出荷精々一千俵ぐらゐと豫想されてゐる原因は去る降雨續きの被害關係もあるが生產者に自家用の要意もあるらしく今年の相場は昨今十圓十二錢（全購聯の取扱は十圓四十錢）で前年より一圓余の高値である

靑年立志會主催の修養講習會
四日間の會費に白米三升

昨報磐城靑年立志會主催の豐間村沼の內辨天境內に於ける修養講習會は交涉中の講師財團法人東京修養團囑託關西みそぎ修養道場主事高橋照道氏に決し來る廿四日から二十七日亘る四日間講師の指導により晝夜の修養に精進の筈で立志會修養部が目下準備中であるが號天光山密藏院の幽境には釣網を知らぬ有名な賢沼があり眞言宗智山派に屬する賢沼寺本堂に起居する前記四日間の同會費は糧食白米三升を持參すれば足り定員は地方靑年その他二百名の豫定を以て入會者を歡迎してゐる

戰地の便 規模の雄大結構 壯麗なる中山陵 (3)
平市材木町出身 大井川和郎

陵は紫金山の中腹に在り爆擊を免かれるために竹でカモフラヂーされては居りましたが血あり涙ある皇軍の情けにより爆擊を免かれ原型の儘に保存され暴戾なる中國人の掠奪を免かるゝ爲めに今では却つて我が方の衞兵所も設けられ步哨を立てゝ保護されて居る事實を思へば如何にかたくなゝる抗日論者と雖も多少の感慨なき能はずでせう、規模の雄大結構の壯麗なること私は未だ我が日光の廟は不幸にして見ませんが之れほどのものは個人の墓としては蓋し我が日本にも前古未曾有であらうと思つて居ります、今や彼の唱へた三民主義も穿き違へられて己の一己の野望を滿たすが爲めに抗日侮日を指導して思はざる戰禍の擴大を招來し徐州の謎りも捨て漢口もまた將に捨て奥地へ奥地へと逃避して今尚ほ英佛依存の空賴みをして國民を塗炭の苦みに陷れ暴戾の限りを盡して悔ゆる事なき狡奴の仕業に孫文の靈もさぞや地下に慟哭して居る事でせう、降りしきる五月雨に南京市內の眺望をほしいまゝにするを得ざるを頗る口惜しと思ひましたが時間の關係もあるので坦々たる二キロ余の舗裝道路を中山門にひき返し中山路を左に折れて光華門に到り衞兵の許可を得て門上に至りふ瞰すれば西南無湖の揚子江をさかのぼりて小丘の起伏する草原の連續にして仰げば左手に紫金山を雨におぼろの全貌を見ました、思ひ起せば昨年〇〇月抗州灣に上陸せる〇〇圓は二手に合れて一隊は〇〇廣德、寧國方面より押し進めて無湖を略しひた押しに押よせて城壁に迫つた、

折笠一等兵名譽の戰傷

江陰城爆破の決死隊に參加した勇士折笠鶴エ門一等兵は去月九日〇〇方面の激戰に於て敵彈のため左肩骨折貫通銃創を負つた旨この程石城郡入遠野村の實家へ通知あつたが折笠一等兵は岩淵部隊に屬し軍友の間から勇武を謳はれてゐたものであると

本場修練生の園藝實習

縣農試本場から石城分場に移り去る十一日から園藝實習中の修練生は十三名で矢ケ崎技手の指導を受けつゝあるが右練習生は本場に於ける技術員養成（一ケ年）の一年生で明後十九日をもつて分場實習を終るので一同豐間、江名の片濱から小名濱に修旅し測候所及び縣水試場、泉村の溫室栽培同村玉露の志賀澤之助氏の農業經營を視察見學し二十日歸場の途には小野新町蠶業試驗場から煙草栽培等を見る由

四倉俵米共販 一俵十三圓廿錢

四倉農業倉庫に於ける去る十五日の俵米共販は出荷僅かに百二十俵に止まる關係もあつたが四等建値十三圓二十錢で取引され前回に比して五錢高である

歸省漫筆 —(3)— 勿來庵へ
目黒より 諸根生

（二）三箱莊より三猿文庫へ 九日午前、勿來庵を立ち、鮫川の沿道を炎天下に徒步、植田より湯本に至つた。是れは、私の畏友にて、又鄕土の哲人である比佐昌平氏が歸省中であるのを知つたので、三箱莊に同氏を訪問した。幸ひ居合せたので、近世濱街道上り下りの大名荷物發著本陣の舊家だけあつて、其の內外は今日の建築文化の傾甚い移動から觀比べて、こゝだけが近世より現代へ、そのまゝの存在を持續して來たのは、實に奥床しくもあり、又哲人の生む環境でもあることを切感した

かくて同氏の虫露しげき庭前に、二人り對座して小談を交した際、俗興として比佐氏から次の二篇を示された、

北支行
東洋平和一朝破
皇軍征戰に苦辛幾
黃河長關在何處
翔察北支二十洲
（昭和十二年十一月一日）
（渡支偶感）
英靈の魂を迎へよ盆の入り

氏の雄辯は固より知つてをるが、是れには流石の私も氏の文藻の豐さをも識つて「三箱山下在哲人」の感をより深くして、三時同宅を辭して平に行き、例の通り「三猿文庫」を訪問したのが四時半であつた

丁度文庫主の元三郎氏（兄久太郎氏不在）が居つたので一年ぶりで鄕土の文化其の他に就いて稍々語つた。偶々同氏が三四年來、急に「水石」の愛好に、壺中の大觀を体驗するといふ是れ亦哲人の軌を履む、野趣無欲漫々の抱懷を充分に說かれた結果、郡市人の之が先驅にも有たざる其の珍藏、稀石の並列する所に案內され、然も其の前の露台に就いて、氏が之に對するレクチャーを說かれること正に一時間半に及んだ。

漁業と漁港に付 技師課長の打合

工事施行中の港灣調査と指導監督の爲め石城郡に出張せる縣土木課の木村技師は右施行地調査を終つた昨十六日小名濱町縣立水產試驗場に於ける漁網に關する協議會（十五日）に來郡したる岩淵水產課長と小名濱に會し漁業と漁港の不可分關係につき打合せをなす

草野家の寄附二百廿圓

平市鎌田町草野七五三之助氏は亡ます子夫人の遺志により昨日國防費へ百圓、地元鎌田靑年團へ四十圓、同防火組合へ二十圓、市の聯合靑年團へ三十圓、平消防組へ三十圓計二百二十圓を寄附す

國府田氏寄附

平市鍛冶町國府田直良氏は昨十六日市の軍事後援會へ金二十五圓を寄附した

御會葬御禮
昭和十三年八月十七日
草野七五三之助
外 親戚一同

眞船さん 飛んだ迷惑
同性名の詐呂で

茨城縣多賀郡關本村長所有山林を我が物顏に賣却數百圓を詐欺した安積郡赤津村小枝町生れ眞船民江長男詐欺橫領前科三犯義道（三九）外二名は今十七日送局されたが義道は元本縣學務課長で現豐橋市助役をしてゐる眞船民伊氏長男と誤られたが眞船助役は安積郡三代村出身で民伊の伊は江に非ず全然無關係なるも往々にして誤られ以前も義道の爲め此の種の迷惑をうけてゐる由

入山プールで選手權大會

本縣陸競聯盟支部主催の水泳選手權大會は來る二十八日午前九時から石城郡湯本町入山炭礦プールに於て開催縣下一般及び學生の同競泳を行はれると

産業方面

水田裏作に甘藍栽培

一反歩から五百六十圓と云ふ好成績

長野縣南佐久郡白田町南佐久農蠶學校では縣下に於て唯一の試みとして二年前から水田裏作に甘藍栽培を實施研究中であるが現在相當の收入を擧げ將來を囑望されてゐる同研究の本年度栽培を上ぐれば種子を一月廿七日小温室内へ箱蒔、三月二日葡萄温室内に間作、四月九日水田裏作（二五八坪）で始めて定植となり、總數三千三百本で一坪へ十二本半の甘藍を植付け教諭の指導により生徒の實習で早口は六月廿日に一貫匁餘の見事な甘藍が收穫完了翌廿一日田植を行ふと云ふスピード振りで肥料は普通の農家の如く全然必要とせず前の甘藍の枯葉その他が自然肥となつてゐる尚遲口は六月卅日完了、之も翌日田植の段取で品種は早口がオールデコペンハーゲンマーケット、遲口がプールデンエーカの二種、收穫の甘藍は何れも生徒の實習販賣に賣捌れ六月六日から十一日間の總收入市價百匁五、六錢を上物四錢で二百五十圓を上げてゐるが多い日は一日五十圓四十五錢の收入を見、競爭者なき品物を撰む出荷をモットーにしてゐるが水田裏作で一反歩五百六十圓餘の收入は縣下にも珍らしく表作にしても三百坪から收穫の米は豐作で四石餘として石建相場卅二圓として僅か百廿圓で甘藍裏作の半分にも達しない（完り）

暑中御伺

片倉磐城製糸株式會社
電話八一・八二番

賣藥化粧品、醫療器械
星チヱンストアー平支部
★ホシ藥舖
平三丁目電話四二九番

平市研古區長　木澤常松

有煙無煙石炭木材販賣業
高橋龜松商店
平市　電話六三八番

衆議院議員　比佐昌平

酩酒……清水正宗……清世界……釀造元
小野晋平
石城郡小名濱町　電話六番

石城郡錦村消防組頭　山崎登

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

慢自の品良優も豚も牛
平市田町　屋三二三
御の肉は命用

正確なる体温計寒暖計（各種）計量器指定販賣
平市五丁目角　山野邊藥局

デーリーサービス

日割	品目	定價	品目	定價
月	カツレツ	二〇	チキンライス	二五
火	ポークチャップ	二五	カツ丼 親子丼	三〇 三〇
水	エビフライ	三五	ハヤシライス	二〇
木	メンチボール	二五	オムライス	三〇
金	コロツケ 蠣フライ	二〇 二五	ハムライス	三〇
土	ビーフテキ	三五	カレーライス	一五
日	ランチA 〃 〃 CB	四〇 六〇 八〇	以上の一割引にて差上ます	

特にマルトモのランチは…
材料のおまかせを願つて居る爲め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出來ますので御華客様からいつも御好評を戴いて居ります
御來店御召上りの時も御來客様用仕出し等總べて御値段を御示し下さつておまかせ願へますれば季節〳〵の材料で美味快適なものを調理進上出來ますので之また非常に御好評で御座います

RESTAURANT MARUTOMO
平市停車場通　マルトモ食堂　電話一二三

便利で經濟な日下家政婦會の派出婦を御利用下さいませ
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
會員（同志）の御加入を御誘ひ致します
派出なき閑暇に裁縫や編物を御教授致します
平市田町十八（西村屋横町）
日下家政婦會
會長　日下すい子
電話七二三番

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店
電九・九九

根本産科婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
（入院隨時）
電話三四番

外科一般　内臓外科
レントゲン科　泌尿器科
晝夜診療
北川外科
（血液檢査毎日）
イツデモ入院デキマス
平市新川町二七（電四六四）
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長　日本齒科醫學士　中野悳次
日大齒科醫學士　塩谷伍郎
補綴部主任　佐藤重義

平田町（三丁目裏川岸通）
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需（自炊の便あり）